

③「防災・減災」に関する生涯学習講座 調査票

市町村名	担当課	人材養成	講座名	講座内容	対象者	令和6年度実績			令和7年度予定
						回数	実施月	参加者数	
羽島市	生涯学習課		中央公民館講座 はしま学事始 地域防災「被災・復興のリアル」	公的機関等から講師を招く「はしま学事始」の第1回。今なお対応が続く能登半島地震は、高齢化地域の被災、地域の孤立やインフラの断絶、悪天候といった大規模災害におけるリスクが多く顕在化するものであった。発生時や復興の現状を知り、羽島市が被災したと想定するとき、それぞれの地域で私たちは何が出来るのか、ともに考える。 講師：石川県中能登町職員 講義形式、一般公募	一般成人	1	2月	57	○
羽島市	消防署		初期消火訓練	市内の事業所や地域住民を対象とした初期消火訓練。 火災の特性や消火の必要性を説明し、初期消火の必要性や消火器の使用方法を学ぶ。 単発講座。訓練参加者10名以上で実施。	一般	87	年中	6321	○
羽島市	消防署		応急手当	市内の事業所や地域住民を対象とした応急手当。 応急手当の必要性、心肺蘇生法などの手法を学ぶ。 単発講座。訓練参加者10名以上で実施。	一般	33	年中	2022	○
各務原市	防災対策課	○	各務原市防災ひとづくり講座	地域の防災力強化を目的として、継続的に各地域で防災活動を行うことができる「防災リーダー」を育成するための講座を開催。有識者や災害ボランティア等の講師による座学及び演習が行われ、講座修了者を「防災推進員」と位置付けている。 2回の連続講座。定員30名。	一般	1	12月	19	○
各務原市	防災対策課		自主防災訓練	自主防災訓練の依頼があった年度実施。 防災対策課や消防本部の職員が講師となり、防災・防火講話やAED取扱い、水消火器、避難所運営ゲーム、家庭内DIG等の自主防災訓練を実施する。 (自治会単独実施の数も含む)	一般	71	通年	5019	○
各務原市	予防課		出前講座 住宅防火 用心と備えから！	火災予防対策や住宅用火災警報器の必要性など大切な命や財産を火災から守るための講話やビデオ鑑賞、消火器の取り扱いなどを学べる。	一般	3	6月 7月 8月	46	○
各務原市	予防課		住宅防火リーダー育成講座	住宅防火リーダー育成講座 定員：60名 講義形態：講義、実技 目的：一般家庭からの火災を防止するため、広く市民に住宅防火の重要性を周知するとともに防火意識の高揚を図るため、住宅防火に関する講座を開催し、住宅防火に関する推進者(住宅防火リーダー)を育て、家庭及び地域における住宅防火対策の推進を図る。	一般	2	11月 12月	38	○
各務原市	子ども政策課		防災講座～備えておこう日頃から～	震災に対する日頃からの備えについて学ぶ	乳幼児を子育て中の保護者	2	9月	30	○
各務原市	いきいき学習課 (西ライフデザインセンター)		長期講座 「災害に備える～暮らしを守る防災対策～」	近い将来発生するといわれる南海トラフ地震、近年の異常気象災害など、もしも被災した時のために、常日頃から災害に備えるための講座。災害前・災害時・災害後にできることを考え、防災の知識を深める。 5回の連続講座。定員30名。	一般	5	9～11月	140	×
各務原市	いきいき学習課 (西ライフデザインセンター)		長期講座「はじめての家庭菜園～有機野菜を作ろう！～」	『JAぎふ』の職員の方に、栽培方法・育て方のコツを伝授してもらった。実際にタネまき、苗植え、栽培管理を行い、できた野菜の収穫を畑で体験する。 5回の連続講座。定員15名。	一般	5	4～8月	75	○
各務原市	いきいき学習課 (西ライフデザインセンター)		長期講座 「かんたん着物リメイク～チュニック～」	思い出のつまんだ大切な着物をチュニックにリメイク。 7回の連続講座。定員8名。	一般	7	10～1月	56	×
各務原市	いきいき学習課 (西ライフデザインセンター)		長期講座 「自然観察さんぽく秋冬編」	身近にある自然の中を散歩しながら、そこで暮らす野生動物・樹木・草・鳥・昆虫を観察し、自然を学ぶ。 5回の連続講座。定員20名。	一般	5	10～2月	100	×
各務原市	いきいき学習課 (東ライフデザインセンター)		長期講座 楽しく学ぶおいしい防災料理教室	ご自宅の備蓄食は、賞味期限切れになっていませんか？スーパーマーケットで買える備蓄しやすい市販品を使用します。停電や断水を想定した災害食のパリエーションも紹介します。カードゲームで楽しく防災が学べて、日常生活に防災を取り入れられる料理教室です。全5回、定員12人。	一般	5	11～翌3月	60	○
各務原市	川島ライフデザインセンター		【防災ワークショップ】自助力を高め て災害関連死を防ぐ	災害後の災害関連死を防ぐため、防災士であり管理栄養士でもある講師から、「食」を中心に講習と実習の両面から自助力の大切さを学ぶ。定員：16名	一般	1	8月	6	×
各務原市	防災対策課		出前講座 地震に備えて	必ず起こる震災に対して、「来たらどうする？」ではなく「来る前にやっておく」ために必要な、日頃の備えや、知識を学びます。	一般	17	通年	682	○
各務原市	消防課		出前講座 救命入門コース	「目の前で、あなたの大切な人が倒れてしまったら…、あなたはどのようにしますか？」いざという時のために、心肺蘇生法やAEDの取り扱いを学びましょう。	小学校高学年以上	4	通年	74	○
各務原市	予防課		出前講座 応急手当	突然のケガや病気に対して、病院に行くまで、あるいは救急隊に引き継ぐまで家庭や職場でできるのが応急手当です。三角巾による包帯法、搬送法を学びましょう	小学校高学年以上	2	通年	55	○
瑞穂市	生涯学習課		瑞穂大学(防災)	外部講師を招き、災害への備えと心構えについて学ぶ。年20回の連続講座。定員230名。	60歳以上	1	10月	200	○
本巣市	総務課	○	防災士養成講座	東日本大震災、熊本地震など、全国的に大規模地震による被害が発生したほか、近年では、台風や線状降水帯などによる大規模な風水害が多発しており、災害発生時において、自助・共助の場面で活躍が期待される防災士の資格取得のニーズが高まっている。 そこで、認定特定非営利活動法人日本防災士機構の認定を受け、本巣市が養成機関となり、防災力向上の中心となって地域で活動する防災士を養成する。 2回の連続講座。	市内在住在勤在学者	1	10月	77	○
本巣市	社会教育課	○	本巣市ジュニア防災リーダー養成講座	学校や家庭、地域における防災活動に積極的に参加する次世代の防災リーダーを育成する『ジュニア防災リーダー養成講座』を実施し、自らの安全を確保するための行動力と備える力を高め、受講生がリーダーとなり学校や家庭、地域の防災力を向上させることを目的とする。本巣市内中学生対象30名程度。	市内中学生	1	7・8月	32	○
笠松町	教育文化課		楽しい防災教室	今年元旦に発生した能登地震を契機に、楽しく防災を学び、来るであろう災害と一緒に備えることを学ぶ	一般	6	11月 ～ 3月	42	○

③「防災・減災」に関する生涯学習講座 調査票

市町村名	担当課	人材養成	講座名	講座内容	対象者	令和6年度実績			令和7年度予定
						回数	実施月	参加者数	
海津市	文化・スポーツ課		市民カレッジ 輪中に残る文化遺産	海津市の文化遺産(千本松原・宝曆治水)についての講義。郷土の先人達の努力と防災への意識や取り組み、文化遺産保持についてのお話です。	小学生～高齢者	1	9月	2	未定
養老町	総務課		防災	・地震や豪雨等の災害時に高齢者としての心構えについて ・避難準備、自宅内の安全対策、非常時持出し、要援助者対応 等について	一般	7	5月 7月 11月 2月 3月	40	○
養老町	総務課		災害への備えについて	・養老町の防災について ・障がい者(児)の対応等について	一般	2	7月 10月	70	○
関市	危機管理課		考えていますか？防災対策	自然災害(風水害、地震など)に対しての、防災・減災の意識向上、防災知識の普及を目的とし、市民の方々の要望に沿って、風水害、地震の講話や、家庭での災害への備え(備蓄、非常持ち出し袋等)、災害図上訓練(DIG)、避難所運営ゲーム(HUG)など幅広い内容の講座を開催している。 市内の自主防災会やその他団体に対して開催する単発講座。	一般	30	4月 ～ 3月	1160	○
美濃加茂市	ひとつづくり課		まちづくり出前講座(防災安全課)	～講座紹介文～ 地震や台風、水害による被害の特徴や、その被害から命を守る対策、備えについて、座学で学ぶ講座です。	どなたでも	10	随時	152	未定
美濃加茂市	ひとつづくり課		まちづくり出前講座(美濃加茂市消防団機能別分団)	～講座紹介文～ 「減災体力」という言葉をご存知ですか？災害時に、少しでも自分に降りかかる影響を軽減させるための体力をいいます。常に健康な体づくりに心がけておくことは、災害時に対応するためにも大切です。本講座では、健康な体に必要な体の仕組みと運動方法についてお話し致します。	高齢者	2	随時	27	未定
美濃加茂市	ひとつづくり課		まちづくり出前講座(可茂消防事務組合 中消防署)	～講座紹介文～ 消防署員が能登半島地震に緊急消防援助隊として出動した際の講話を行います。逃げるための荷物は具体的に何を準備するのか、また避難する際、家族や近所の人が負傷により歩けない場合、どのように搬送するのか、実体験や、非常持ち出し品を実際に見て作戦を立てましょう。	小学生～高齢者	1	随時	29	未定
可児市	防災安全課	○	可児市防災リーダー養成講座	災害に備えて正しい知識や技能を取得し、平時において地域の防災訓練・研修で活躍することができ、災害時には救援救護活動を担う地域の「防災リーダー」を養成するための講座。計4回実施。	一般	1	11月 12月	25	○
可児市	防災安全課		知っておきたい防災の基礎知識 ～自助・共助の重要性～	対象:各自治会等希望のあった団体や市民 内容:すぐできる防災対策、備蓄品や避難所に関すること等	一般	13	都度	-	○
白川町	教育課 黒川地区公民館		知って得する防災の話	もしもの時に備えての初期対応を習う	一般	1	7月	8	×
御嵩町	生涯学習課		御嵩を知る	身近な防災知識や災害時の避難行動、地域防災の心得などについて、防災リーダーから話を聞く。	一般	1	7月	24	○
多治見市	旭ヶ丘公民館	○	防災意識を高めよう！ まるで防災 防災カードゲーム体験会	ボードゲームフェスタ「まいた〜ん」代表の高橋氏作成の防災を学べる「備えるボードゲーム まるで防災」を使って楽しみながら災害への備えを学びました。	8歳以上	1	1月	30	○
多治見市	市之倉公民館		もしものに備える救命講習	心肺蘇生法やAED講習などを通して、もしもの時に冷静で適切な判断や処置が行えるよう講習を行った。公民館利用団体や地域住民も一緒に講習を受け、地域全体で地域を守る体制づくりに取り組んだ。	一般	1	3月	31	未定
多治見市	小泉公民館		リトルカレッジ できるよ防災クッキング	災害時に役立つ防災クッキング(バッククッキング)を体験する	小学生親子 中学生	1	7月	15	未定
多治見市	小泉公民館		防災力アップ講座	ボードゲーム「まるで防災」を活用し、防災について楽しみながら学びます。また水のいらぬトイレについて講話と体験をしました。	全世代	1	2月	35	未定
多治見市	小泉公民館	○	AED講習会	AED講習会救命入門コース(90分)を実施	全世代	1	5月	11	○
多治見市	笠原交流センター		防災講座(悠遊塾)	企画防災課を講師に、自分の暮らす地域に過去どんな災害が起こったのかをハザードマップをみて確認しながら、災害時の情報について教えてくれるアプリにどんなものがあるのか、災害が起こった時の避難の仕方、支援が必要な方への配慮について学んだ。	高齢者	1	5月	19	未定
多治見市	笠原交流センター		笠原断層大丈夫？地震・水防 (悠遊塾)	企画防災課の方を講師にお迎えして巨大地震について学びました。	高齢者	1	9月	14	未定
多治見市	学習館		女性のための護身術セルフディフェンス	自分自身の心と身体を守る護身術について実技とともに、未然に暴力から身を護る方法を学ぶ講座を、セルフディフェンストラナーの増井さとみ氏を講師に迎え実施。	女性	1	1月	22	未定
多治見市	学習館		地震後の食・トイレ・住まいを備える ～神戸と能登半島の教訓～	地震発生時の室内の様子を理解し、怪我をせず生き残ることができる対策方法と、自宅での避難生活を継続するための備えと注意点について解説する講座を実施。	一般	1	11月	21	未定
多治見市	危機管理課		地域防災力向上セミナー	・各自で防災課題を把握する(減災教室で点検) ・市内の防災課題と防災・減災の基礎知識の学習 ・体験型プログラムを試す(災害図上訓練・屋内の点検・災害時の食事やトイレなど) ・避難所と在宅避難を考える(避難所の備え) ・地域での取り組みを考える(各種訓練・アンケート・ゲーム)	市内在住者	1	2月	13	○
土岐市	危機管理室	○	防災リーダー養成講座	地域で活動する防災士を養成することを目的に、災害や気象情報等の知識を習得するための講座を開催。 年3回の連続講座。定員約30名。	一般	3	10月～ 12月	24	○

③「防災・減災」に関する生涯学習講座 調査票

市町村名	担当課	人材養成	講座名	講座内容	対象者	令和6年度実績			令和7年度予定
						回数	実施月	参加者数	
土岐市	生涯学習課 肥田公民館		肥田町防災講座	あなたは大規模災害に備えていますか？ ①ニュースでは伝えられない被災地の実情 ②できることから少しずつ暮らしの中でできる防災 ※被災時のトイレ体験、防災備品の展示、肥田町の災害リスク(展示)(定員50名)	一般	1	9月	28	○
瑞浪市	危機管理課		防災講座・消防講座	防災・消防に関する講座。申請者の形態や要望に応じて、地震、風水害時の防災講話、DIG訓練、炊き出し訓練、消火訓練、煙体験、地震体験を実施。単発講座。	一般、小学生、高校生、大学生、官公署、福祉施設	31	5月～3月	1031	○
瑞浪市	危機管理課	○	ジュニア防災リーダー養成講座	小・中学生年代から防災教育を実施することで、将来、自主防災組織のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的として開催。防災講話、ロープの使い方、応急手当、初期消火訓練、煙体験、備蓄食体験を実施。単発講座。定員20名。	小学5年生～中学生	1	8月	15	○
瑞浪市	危機管理課	○	防災リーダー養成講座	防災の知識・技術を身に付け、地域で活躍していただく防災リーダーを養成するために講座を開催する。受講者は、日本防災士機構が実施する防災士資格取得試験を受験することができ、合格後防災士として登録することが可能。3回の連続講座。定員40名。	一般	1	11月 12月	15	○
瑞浪市	消防総務課		災害図上訓練(DIG)	小学生に対して災害図上訓練(DIG)を実施。自分の住むまち、ひと、災害を知ることにより、災害発生時の課題、改善策を考える。	小学5年生	1	11月	20	○
瑞浪市	消防総務課		防災講話	小学生及び一般市民向けに防災講話を実施。地震の知識、地震対策を学び、災害発生時の課題、改善策を考える。	小学生 一般	6	7月10月 11月	338	未定
瑞浪市	消防総務課		地震体験	過去に実際発生した地震を体験することによって、防災意識の高揚や災害に対する知識の向上を図る。	小学生 一般	5	10月11月 12月	407	○
瑞浪市	警防課	○	救命講習	AEDを使った心肺蘇生法や応急手当法を身に付けるための講座です。	小学生 中学生 高校生 教職員・一般	96	随時	1723	○
中津川市	阿木事務所		みちくさ教室 防災教室	夏休み期間中、子どもの居場所作りも兼ね、小学生以上の子どもさんを対象に、地域の防災士を講師に、災害時の避難場所にもなる阿木公民館で、テントの設置や新聞紙で草履作りを学び、カレーライスを作って皆で食べ、災害時の子どもたち自身でも行動できるよう学びました。	小学生	1	8月	36	○
中津川市	福岡公民館		その日に備える！ 防災を学ぼう	忘れた頃にやってくる災害を自分の事として捉え、被害を減らす日頃の備えや避難に役立つ情報を、同じ地域に暮らす皆さんと共に学びます。	一般	3	6～8月	23	○
中津川市	中央公民館	○	防災・減災講座	自然災害に備えて日常からできる備えや心構えについて様々な角度から学ぶ連続講座。定員20名	一般	8	6月～1月	136	○
中津川市	付知公民館		保育園・中学校合同命を守る訓練	地震が起きた想定で、それぞれがグラウンドに逃げた後、保育園からの要請で中学生が園児安全をな場所に連れていくという訓練	園児・中学生他	1	5	200	○
中津川市	付知公民館		北小・南小6年生命を守る訓練	被害が起きた場合の避難場所での困りごとなどを想定しグループで話し合いまとめた。また市の指導により避難所のパーティションの作成方法を学んだ	両小学6年生	1	6	80	○
中津川市	付知公民館		南小4・5年生命を守る訓練	初期消火訓練、消防車見学、煙体験、防災士指導による校内危険個所の確認、新聞紙スリッパの作成。アルファ米による非常食作成訓練などを行った	南小4・5年生	1	10	80	○
中津川市	付知公民館		北小4・5年生命を守る訓練	初期消火訓練、消防車見学、煙体験、防災士指導による校内危険個所の確認、新聞紙スリッパの作成。アルファ米による非常食作成訓練などを行った	南小4・5年生	1	11	80	○
高山市	危機管理課		能登半島地震、避難所生活、地区防災計画	八日町・前原町内会からの依頼により、能登半島地震の状況、避難所生活、地区防災計画の策定についてをテーマに開催	一般	1	4月	29	未定
高山市	危機管理課		地震の備えについて	民間団体からの依頼により、能登半島地震の状況、避難情報、避難所や避難経路の確認などの地震の備えについてをテーマに開催	一般	1	5月	32	未定
高山市	危機管理課		防災についての知識を深めたい	民間団体からの依頼により、能登半島地震を踏まえての高山市の避難情報を得る方法など防災に対する知識を深めたいについてをテーマに開催	一般	1	6月	100	未定
高山市	危機管理課		防災対策について	久々野まちづくり協議会からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の避難情報や避難経路の確認など防災対策についてをテーマに開催	一般	1	7月	50	未定
高山市	危機管理課		防災対策について	民間団体からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の避難情報や避難経路の確認など防災対策についてをテーマに開催	一般	1	8月	20	未定
高山市	危機管理課		防災対策について	西小学校からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の避難情報や避難経路の確認など防災対策についてをテーマに開催	小学4年生	1	9月	19	未定
高山市	危機管理課		防災対策について	山王小学校からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の避難情報や避難経路の確認など防災対策についてをテーマに開催	小学4年生	1	11月	57	未定

③「防災・減災」に関する生涯学習講座 調査票

市町村名	担当課	人材養成	講座名	講座内容	対象者	令和6年度実績			令和7年度予定
						回数	実施月	参加者数	
高山市	危機管理課		防災対策について	北地区まちづくり協議会福祉部からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の避難情報や避難経路の確認など防災対策についてをテーマに開催	一般	1	11月	35	未定
高山市	危機管理課		防災対策について	民間団体からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の避難情報や避難経路の確認など防災対策についてをテーマに開催	一般	1	12月	13	未定
高山市	危機管理課		防災対策について	松本町内会からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の避難情報や避難経路の確認など防災対策についてをテーマに開催	一般	1	12月	35	未定
高山市	危機管理課		防災対策について	高山市社会福祉協議会国府地区見守り推進員からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の避難情報や避難経路の確認など防災対策についてをテーマに開催	一般	1	12月	30	未定
高山市	危機管理課		BCP訓練での講座	高山赤十字病院からの依頼により、能登半島地震を踏まえての市の備蓄状況や職員の確保などBCP訓練での講座についてをテーマに開催	一般	1	2月	40	未定
高山市	危機管理課		過去の災害から学ぶ日頃の備え	民間団体からの依頼により、高山市の過去の災害状況を知ることで防災対策の向上を目的としたテーマで開催	一般	1	3月	14	未定
高山市	久々野支所 地域振興課		防災対策について	職場の交通労働安全衛生大会の中で、防災対策や災害に関する知識を深めることを目的とした研修を開催。	一般	1	6月	50	未定
高山市	警防課	○	自主防災訓練等の指導	消火栓や可搬ポンプによる初期消火訓練、救出器具の取扱い訓練	一般	191	年間	5323	○
高山市	警防課		お仕事発見隊	榑ポーラが主催する飛騨地域の職場体験事業に1事業所として参加。 定員10名。体験内容は以下の通り。 ・救命処置(心肺蘇生法)を体験する。 ・防火衣、呼吸器の着装を体験する。 ・放水を体験する。 ・消防署の庁舎、車両を見学する。	小学1年生から小学6年生まで (小学1、2年生は保護者同伴)	1	7月	10	○
飛騨市	危機管理課	○	飛騨市防災リーダー養成講座	防災に関する知識を習得し、災害時に地区の防災活動のリーダーとして活躍できる人材を育成するため、日本防災士機構公認の防災士育成研修を開催する。	小学生～一般	3	2月 3月	38	○
飛騨市	市民保健課		乳幼児学級	参加者への「災害時の食支援」について	乳幼児学級参加者	2	11月、2月	42	○
飛騨市	市民保健課		赤ちゃん防災講座	0～1歳の子を持つ保護者に対し、防災の具体的な知識に始まり、子どもを守るための知識等について学ぶ講座	0～1歳の子を持つ保護者	1	10月	12	○
飛騨市	市民保健課		災害時の食支援	災害時のローリングストックや調理方法について地域で講座を実施	一般	1	6月	22	未定

実施市町村数
18

実績				次年度計画
講座数	人材養成	実施回数	参加者数	
78	13	713	27106	46